

「ふるさとのお盆」

北海道福島会幹事 角田 洋子



私が生まれ育った福島町は、津軽海峡の北海道側で青函トンネルの「吉岡海底駅」のある町です。トンネル工事の現場だった昭和40年から60年は、とても活気があり、人口もピーク時は1万3千人程に達したそうです。

残念ながら現在は、5千人弱で、老人の多い町になっています。今も漁業が盛んで、スルメイカや昆布類が採られ、水産加工場が多く、農産物もジャガイモ、トウモロコシ、笹竹の子等、自然に恵まれ、そして2大横綱や松前神楽と文化的にも優れた町です。



私は昭和21年生まれます。子供の頃はどこの家でも兄妹が多く、電気製品も無く遊びは裏山や神社の境内でゴム段や片足けんけん

等をしてしていると、母の甲高い声をして、「ご飯の支度手伝え！妹の子守りしろ！」と、急いで家に帰りましたが、懐かしく楽しい記憶が残っています。昨年7月に長年工事していた、「海峡横綱ビーチ」がオープンしました。毎年8月13日に、イカ祭が行われ、ビーチに貝類を放流し、子どもたちに拾わせたりイカのつかみ取りさせます。近隣の方々も参加して、短い夏の大イベントです。今年は13日が雨で、14日に順延され、12時から始まりました。九重部屋のお相撲やゲーム、夜7時からの花火大会は、ビーチの沖合から打ち上げられ、目前のキレイで迫力ある花火にあちらこちらから拍手が起り、つめかけた7300人強の人々も大満足な笑顔でした。

わがふる里「夢の浮島利尻島」

東京利尻会事務局長 小野寺 敏守



連合会・会報30号記念号発刊おめでとうございます。我がふるさと利尻島は、北海道の最北端、稚内からフェリーに乗って1時間40分で到着します。島は周囲約63キロ、人口は約5800人、昭和49年に「利尻礼文サロベツ国立公園」の指定を受けました。島の象徴は、北の秀峰として日本名山百選にも選ばれている「利尻富士」標高1721メートル。産業は観光と漁業、特に利尻昆布は、味が濃くて香りが良く、澄んだ上品なダシがとれ、昆布の最高級品と折り紙をつけられています。その昆布を食べて大きく育つエゾパフウニ、あまり食べられると昆布は売り物にならない共存関係にあります。

念ながら、個人情報等の関係から名簿等の入手が困難で、年々減少の傾向となっています。近年総会場は、遙々北海道から夜汽車に揺られ夢と希望に満ちあふれ東京に第一歩を踏み出した地、上野の「精養軒」で開催しています。

また、今年には東映創立60周年記念作品、利尻、礼文、サロベツを中心にロケ地とし、淡かなえの原作、吉永小百合の主演映画、「北のカナリアたち」の製作が進んでいます。マイナ

ス30度を超える極寒の冬とエゾカンゾウと高山植物が鮮やかに咲き誇る夏を舞台に撮影が順調に行われ、製作されました。

記念総会の開催を予定しています。会員約250名ですが残

在宅での療養をささえます



介護用品、福祉用具の
販売とレンタルの店

(株)ホームケアセンターイワサキ

代表取締役 岩崎 悟 (東京新冠会幹事長)

〒204-0003

東京都清瀬市中里 3-1118-1

TEL:042-492-3522

介護保険 福祉用具貸与指定事務所

銀座で創業30年余、
都心の不動産のことならお任せを!

不動産の売買・仲介・管理・ご相談承ります

株式会社 八千代商会

代表取締役 堀川 哲夫 (東京白老会・副会長)

社団法人
東京都宅建物取引業協会会員
都知事免許 (9) 4 2 4 5 0

〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目11番7号
電話 03-3545-1466 (代)
FAX 03-3546-3860